



中央市民病院ニュース No.89

INDEX

100周年記念式典の挙行について …………… 1	リハビリテーション技術部からのお知らせ ロボットスーツHAL®を用いたリハビリプログラム … 5
経鼻内視鏡下/経鼻内視鏡補助下 頭蓋底手術を行っています ～安全・低侵襲・確実な頭蓋底手術を行うために～ … 3	医師の異動のお知らせ …………… 7 患者さんをご紹介いただく際は …………… 8

100周年記念式典の挙行について

神戸市立医療センター中央市民病院は、1924(大正13)年3月1日に市立神戸診療所(長田区)として開設以来、2024(令和6)年3月1日で開設100周年を迎えました。

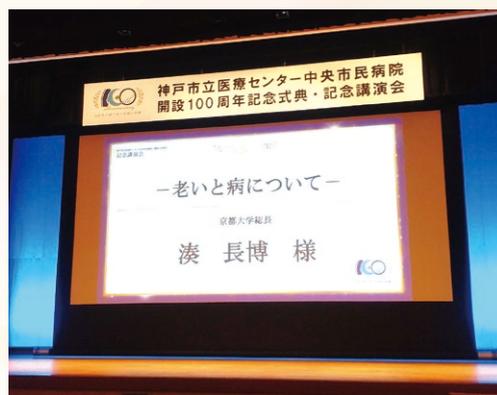
この間、当院は、戦災や阪神・淡路大震災、新型インフルエンザや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、未曾有の危機に見舞われてきましたが、市民の皆様のご理解・ご協力のなか、迫り来る危機を乗り越え、安全・安心な医療の提供に努めてまいりました。

この度、この開設100周年を機に、2024(令和6)年7月14日(日)、神戸ポートピアホールにおいて、「神戸市立医療センター中央市民病院 開設100周年記念式典・講演会・祝賀会」を挙行了しました。連携登録医の先生方をはじめ約400名にもものぼる皆様方にご参加いただき、記念すべき嘉節を祝いました。



記念式典は、木原康樹病院長による開式の挨拶で幕を開け、続いて久元喜造神戸市長のご挨拶の後、坊やすなが神戸市会議長、八田昌樹兵庫県医師会長、堀本仁士神戸市医師会長、伊佐正京都大学大学院医学研究科長・医学部長、邊見公雄全国公私病院連盟会長・全国自治体病院協議会名誉会長から祝辞を頂戴しました。最後に、橋本信夫地方独立行政法人神戸市民病院機構理事長の謝辞の後、盛大な拍手の中、記念式典が終了しました。

続いて、湊長博京都大学総長より、「老いと病について」をテーマに記念講演が行われました。



記念式典等の開催にあたり、様々にご尽力いただいた皆様、式典にご参加いただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。おかげさまで、「神戸市立医療センター中央市民病院 開設100周年記念式典・講演会・祝賀会」が成功裡に終了したことをご報告させていただきます。

引き続き、1年365日、24時間体制での救急医療を実践することで、安全で安心な医療の提供に努めるとともに、地域医療機関と連携を図りながら神戸医療圏の中核病院として、市民の最後の砦として役割を果たしてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



経鼻内視鏡下/経鼻内視鏡補助下 頭蓋底手術を行っています ～安全・低侵襲・確実な頭蓋底手術を行うために～

頭頸部外科部長 菊地 正弘

2024年4月に神戸市立医療センター中央市民病院頭頸部外科部長を拝命しました。

私が力を入れている臨床領域は三つあります。一つは頭頸部癌手術、もう一つは鼻科手術、そしてこれら二つの境界領域にあたる頭蓋底手術です。

頭蓋底手術の対象疾患には、悪性疾患として鼻副鼻腔癌や嗅神経芽細胞腫をはじめとする前頭蓋底悪性腫瘍、良性疾患として三叉神経鞘腫などの翼口蓋窩腫瘍や髄膜瘤などが含まれます。これらの手術は顔面切開や開頭といった侵襲的なオープンサージェリーで行われることが多いですが、私

は鼻科手術指導医の資格を持つ全国的に珍しい頭頸部癌指導医として、これらの手術に経鼻内視鏡手術を導入し、低侵襲かつ安全な手術を行っています。

部長就任後に行った経鼻頭蓋底手術の一部をご紹介します。

一例目(図1)は他院で放射線治療を受けた後に局所再発した上咽頭癌の症例です。上咽頭は顔面深部に位置し、周囲には内頸動脈が存在するため一般的には手術が困難とされています。しかし、小さな腫瘍であれば内視鏡的に治癒切除が可能です。

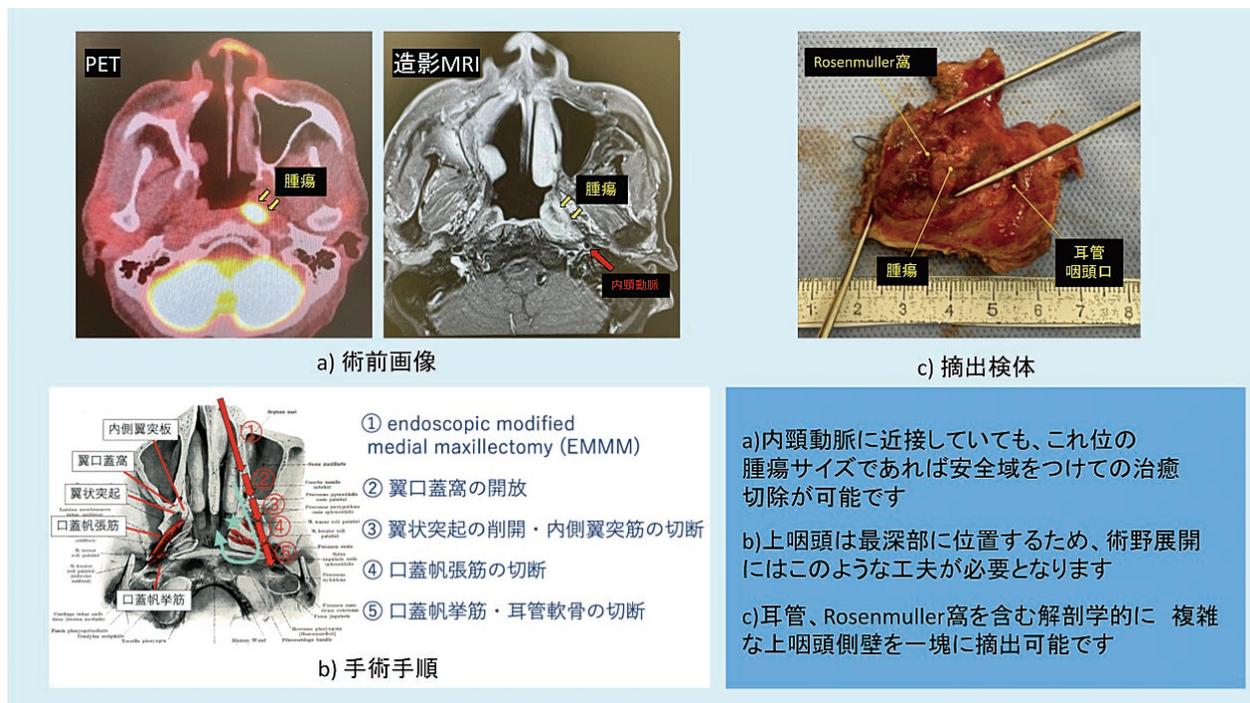
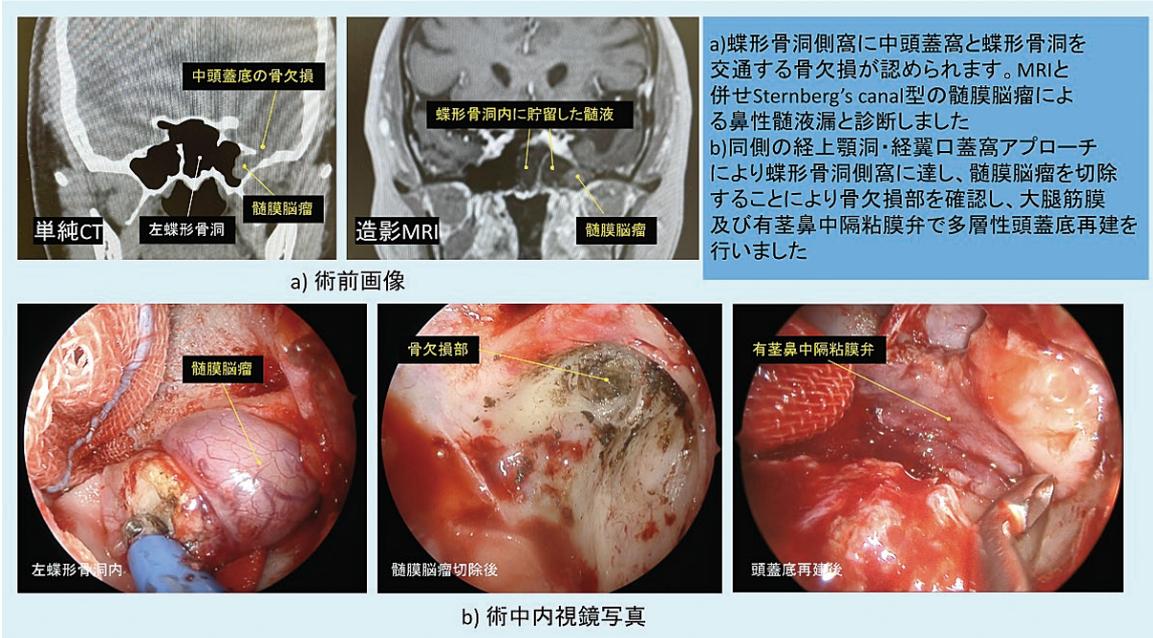


図1 上咽頭癌

二例目(図2)は蝶形骨洞側窩に発生した髄膜脳瘤に伴う鼻性髄液漏の症例です。同部への開頭アプローチは困難であり、経鼻アプローチ(経翼

口蓋窩アプローチ)が適しています。髄膜脳瘤を切除後は、大腿筋膜と有茎鼻中隔粘膜弁による多層性頭蓋底再建を行いました。

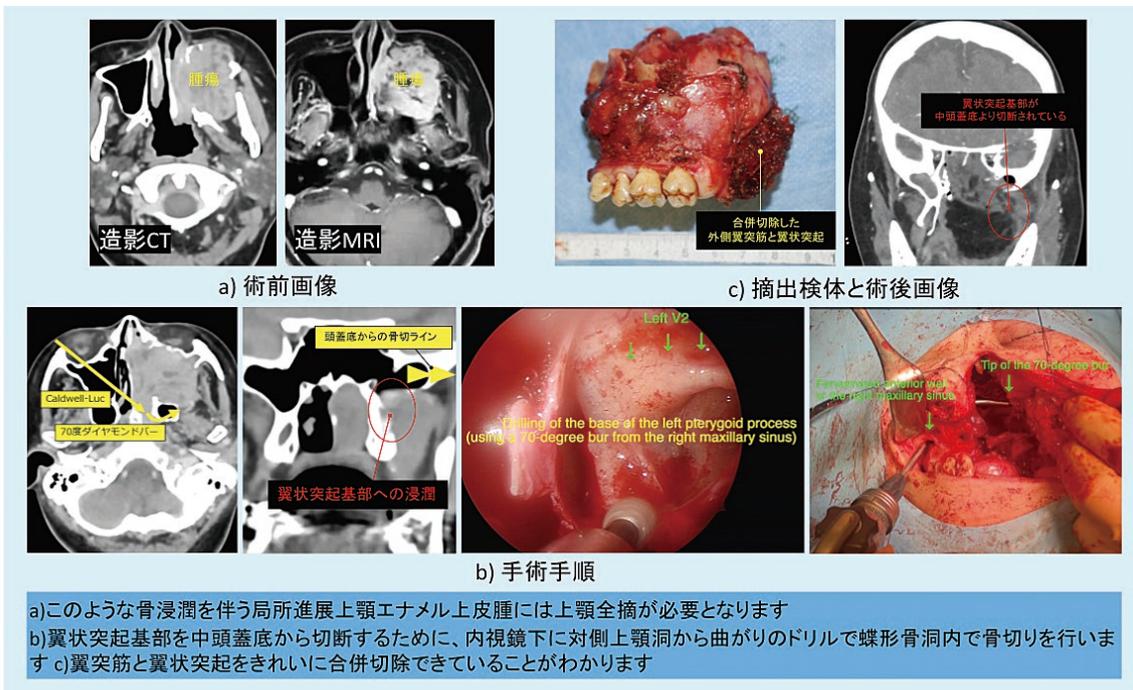


a) 蝶形骨洞側窩に中頭蓋窩と蝶形骨洞を交通する骨欠損が認められます。MRIと併せSternberg's canal型の髄膜脳瘤による鼻性髄液漏と診断しました
 b) 同側の経上顎洞・経翼口蓋窩アプローチにより蝶形骨洞側窩に達し、髄膜脳瘤を切除することにより骨欠損部を確認し、大腿筋膜及び有茎鼻中隔粘膜弁で多層性頭蓋底再建を行いました

図2 髄膜脳瘤

三例目(図3)は局所進行性の上顎エナメル上皮腫の症例です。この症例では外切開と内視鏡の併用手術を行い、対側上顎洞から蝶形骨洞内で翼状突起基部を中頭蓋底から切断する手技を用いる

ことで、根治性を高めながら顔面切開を最小限に抑えました。今後も嗅神経芽細胞腫に対する経鼻前頭蓋底手術などが予定されています。



a) このような骨浸潤を伴う局所進展上顎エナメル上皮腫には上顎全摘が必要となります
 b) 翼状突起基部を中頭蓋底から切断するために、内視鏡下に対側上顎洞から曲がりのドリルで蝶形骨洞内で骨切りを行います
 c) 翼突筋と翼状突起をきれいに合併切除できていることがわかります

図3 上顎エナメル上皮腫

経鼻内視鏡手術の対象は鼻副鼻腔疾患だけではありません。鼻から鼻の外へ一歩踏み出した経鼻頭蓋底手術が可能です。癌治療のマインドをもっ

た経鼻手術、嗅覚温存など鼻に優しい癌治療を推進していきます。対象疾患がございましたら、ぜひご紹介ください。

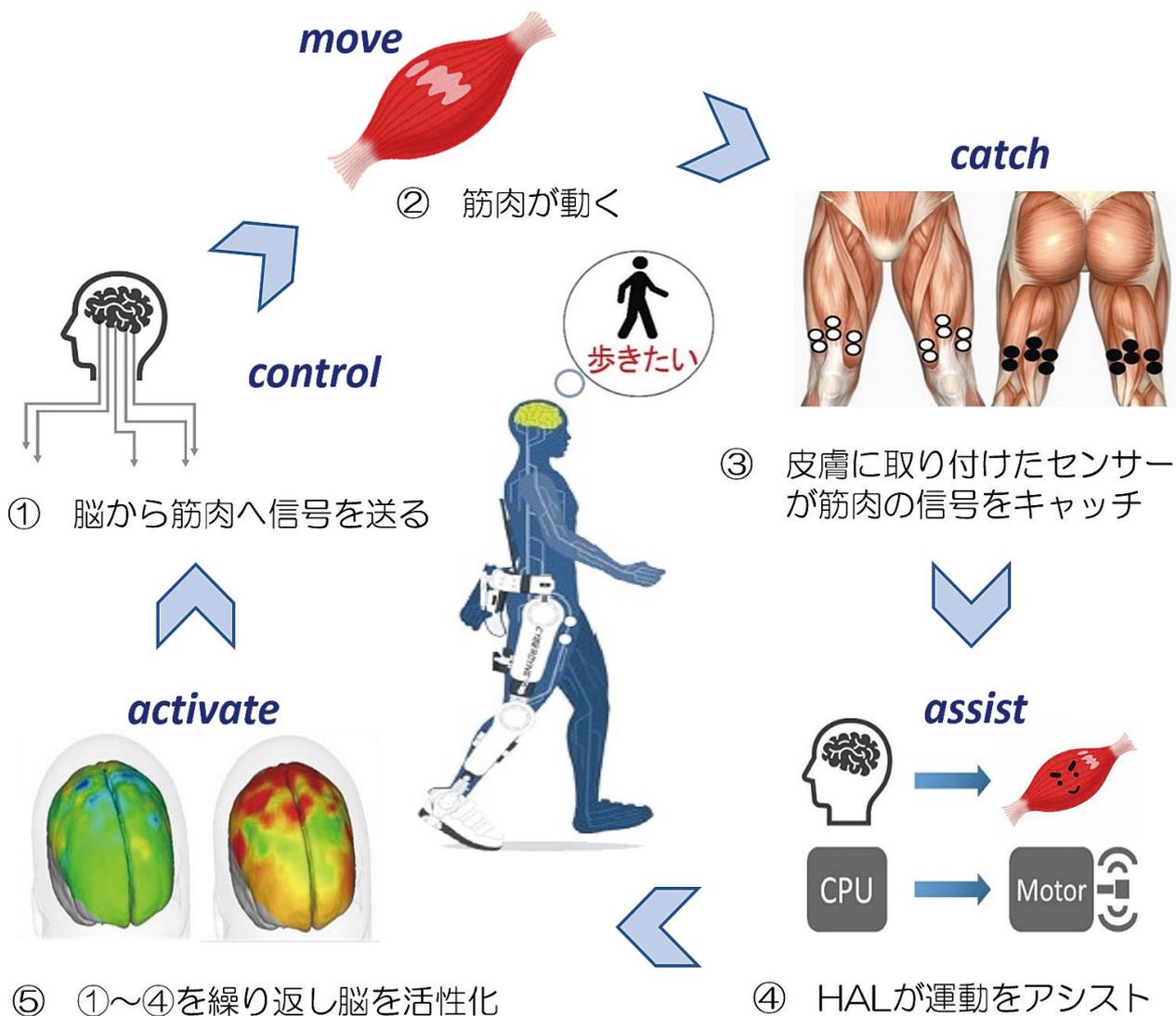
部門紹介

リハビリテーション技術部からのお知らせ ロボットスーツHAL®を用いたリハビリプログラム

リハビリテーション技術部技師長代行 岩田 健太郎

ロボットスーツHAL®は「人」、「機械」、「情報」を融合させ、身体機能を改善・補助・拡張することができる、世界初のサイボーグ型ロボットで、身体にロボットスーツHAL®を装着することで、いつもより大きなチカラを出したり、身体の不自

由な方をアシストしたり、脳・神経系への運動学習を促すシステムです。筋力を強化するというよりもロボットによる助力で歩行パターンを再学習させるといった機序で難病患者のリハビリテーションに役立てようというものです。



2018年3月より、8種類の神経筋疾患に対して、ロボットスーツHAL®を用いた外来リハビリテーションが保険適用となりました。2022年4月からは入院でも保険適用が可能になり、2023年10月には2疾患が追加され、適用範囲は10疾患に拡大し、対応する病変部位は脊髄領域まで広

がってきています。適用外の疾患でも、運動機能の改善が期待される場合には、主治医と療法士の評価のもと、患者の同意を得てHAL®によるリハビリを行っています。より多くの患者に利用していただけるよう努めています。

対象疾患

脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、シャルコー・マリー・トゥース病、遠位型ミオパチー、封入体筋炎、先天性ミオパチー、筋ジストロフィー、HTLV-1関連脊髄症、遺伝性痙性対麻痺

2週間程度の入院リハビリプログラムを作っておりますので適応疾患に該当される方で、希望の方がおられましたら地域連携を通じてご紹介くだ

さい。また、ロボットスーツHAL®でのリハビリテーションを希望される方は脳神経内科の医師にお問い合わせください。



CYBERDYNE社のHPより

世界で初めてのロボット治療機器として、ドイツ公的損害保険により労災保険の適用が認められ、EU全域での各種保険適用に向けて、脊髄損傷や脳卒中を含む脳・神経・筋疾患に対する機能改善治療として展開しようとしています。

地域連携のお知らせ

連携登録医にご登録ください

当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。

連携登録医として登録していただくと

1. 紹介患者さんに対する診療および入院の対応を迅速に行うよう努めます
2. 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
3. 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
4. 図書室など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
5. 来院時の駐車場料金を無料にします
6. 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
7. 病院ニュースやオープンカンファレンス・講演会の開催情報などをE-mailでお送りいたします
8. 「連携登録医証」「インターネット紹介予約システムご利用ID・パスワード」を発行いたします

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

なお、連携登録医療機関一覧は、当院ホームページにも掲載しております。

中央市民病院の
ホームページ

医療関係者の方へ

患者総合
支援センター

連携登録医

新規連携登録 医療機関

R6.6.1～7.31時点

区別住所50音順で
掲載しております

区	連携登録医療機関	住所
兵庫区	よりそいクリニック	神戸市兵庫区下沢通7丁目2-26
中央区	神戸三ノ宮駅前デンタル矯正歯科	神戸市中央区三宮町1-10-1
北区	いしだクリニックきたすず	神戸市北区甲栄台2-3-1
中央区	神戸みはら内科・糖尿病クリニック	神戸市中央区多聞通4丁目1-3
西区	向原クリニック	神戸市西区大津和1-7-8

医師の異動のお知らせ

退職・転出 | 6月～8月

診療科	補職	氏名	異動日	診療科	補職	氏名	異動日
形成外科	専攻医	大濱 大瑛	5月29日	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	副医長	道田 哲彦	6月30日
小児科・新生児科	専攻医	木原 崇志	5月31日	呼吸器内科	専攻医	齊藤正一郎	6月30日
産婦人科	専攻医	三木麻紗与	5月31日	放射線治療科	専攻医	小久保結美	6月30日
脳神経外科	専攻医	川出 智大	5月31日	救急科	専攻医	大橋孝太郎	6月30日
救急科	専攻医	亀井 裕子	5月31日	救急科	専攻医	工藤 溪奈	6月30日
精神・神経科	副医長	内藤 敦海	6月30日	麻酔科	専攻医	村中 要公	7月31日
産婦人科	副医長	川口 雄亮	6月30日	麻酔科	専攻医	齊藤 成美	7月31日

採用 | 6月～8月

診療科	補職	氏名	異動日	診療科	補職	氏名	異動日
救急科	専攻医	林 瑠星	6月1日	救急科	専攻医	下川 岳人	7月1日
産婦人科	副医長	野田 美恵	7月1日	救急科	医員	渡部 博明	8月1日
脳神経外科	専攻医	横地 泰徳	7月1日	麻酔科	副医長	土田 高裕	8月1日
救急科	専攻医	稲葉 和真	7月1日	麻酔科	専攻医	成田 響	8月1日
救急科	専攻医	池田 廉	7月1日				

ご案内

神戸市立医療センター
中央市民病院
地域連携懇話会

日時：令和6年11月21日(木) 18:00～20:30
会場：神戸ポートピアホテル 本館地下1階 @偕楽
※詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

患者さんをご紹介いただく際は…

FAX・インターネットでご予約ください

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の紹介予約を受付しています。紹介予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、ぜひご利用ください。

FAX予約

- FAX予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくてもFAX予約は可能です。診療情報はその日のうちに記入し、再送信してください。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。患者総合支援センターへ電話で連絡をしていただくようお願いください。

手順

1. 「FAX予約申込書」を当院患者総合支援センターへ送信してください。【簡易手続記載例を参照ください】
 - 1) 「FAX予約申込書」様式の上段赤枠のみ記載ください（検査依頼については専用の検査様式をご使用ください）。
 - 2) 後ほど予約申込日中に下段青枠に追記してから再送ください。
2. 「予約報告書（上段）兼初診予約券（下段）」を返信します。
3. 「予約報告書（上段）」は貴院で保管し、「初診予約券（下段）」および「診療情報提供書（紹介状）」を患者さんに手渡してください。

神戸市立医療センター中央市民病院 患者総合支援センターへ送付するFAX予約申込書。赤枠は必須入力欄、青枠は追記欄です。

1 まず赤枠のみ記入して送信してください。

2 お手すきの際に青枠に追記して再送してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。

インターネット紹介予約

インターネットで診察予約申込と予約券出力が可能です。

当院ホームページ > 医療関係者の方へ

> 一般外来紹介予約 > インターネット紹介予約はこちら

PET/CT検査依頼のご案内とお願い

放射線技術部

● 当院のPET/CT検査について

2017年11月より、地域医療機関の先生方からのPET/CT検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET薬剤（FDG）は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適量のPET薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。

2018年3月に「5リング搭載高感度型PET/CT装置（GE Healthcare社製 Discovery IQ）」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

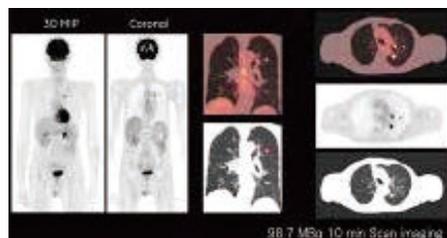
また現在、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。



● 地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT検査は、悪性腫瘍（早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む）において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定（悪性リンパ腫を除く）は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT検査を受けられる前に、必ずCT・MRIの画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願いいたします。



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
 Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代表 Tel : 078-302-4321 Fax : 078-302-7537

FAX予約 Tel : 078-302-6031 Fax : 078-302-2251

患者総合支援センター Tel : 078-302-4321(代) Fax : 078-302-4424

緊急受診・転院のお問い合わせは

専用ダイヤル：078-302-5172

【平日 9:00~17:00】 患者総合支援センター
 【上記以外の時間帯】 救急外来受付

脳卒中ホットライン
078-302-8030

産科ホットライン
078-302-5104

胸痛ホットライン
078-302-6162

小児科ホットライン
078-302-5343